

堺市で暮らす障害児者を支える 関係機関の縦横連携の課題

社会福祉法人三篠会 堺市立重症心身障害者（児）支援センター ベルデさかい
渡辺美咲 松浦雄史 杉田麻美 小澤明人

日本重症心身障害学会 COI 開示

渡辺美咲 松浦雄史 杉田麻美 小澤明人

演題発表に関連し、発表者および全ての共同発表者には
過去3年間において、開示すべきCOI 関係にある企業などはありません。

※本調査に関する対象者の皆様には、発表についての同意をいただいています。

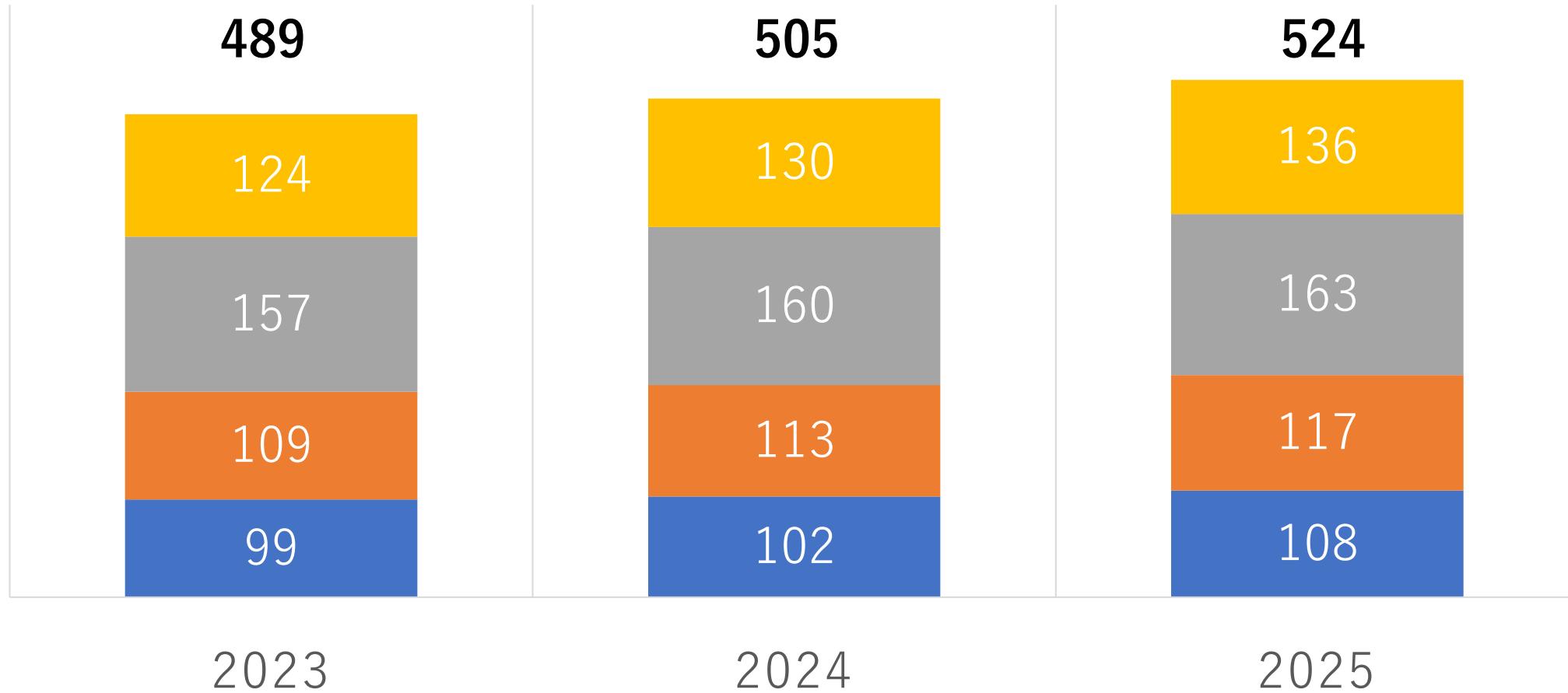
はじめに

- ・「ベルデさかい」は大阪府堺市の重症心身障害者(児)施設
- ・**地域支援事業**は地域の障害児者とその家族の生活支援を実施
- ・「**堺ミーティング**」は障害児者の課題について、**地域の事業所**と多職種で情報交換することが目的



堺市の事業所数の推移

■ 訪問看護 ■ 生活介護 ■ 放課後デイ ■ 児童発達支援



事業所数の増加に伴い、**縦横連携の課題**が生じていると推測される

研究の背景と目的

- ・昨年の「堺ミーティング」で、児童発達支援、放デイからの話題提供をもとに、関係機関の縦横連携を論議
- ・参加者は18施設、48名。職種は福祉職、医療職、教員、行政職など。
- ・本研究の目的は、「堺ミーティング」の討議内容から、堺市の縦横連携の課題を明らかにし、対策を検討すること。



堺ミーティングの様子

研究の方法

- ・「堺ミーティング」の討議での発言を、「質的データ分析法」（佐藤、2008）を参考に、下記の手順で分析。

討議での全発言
(9名) の逐語録
を作成

逐語録から
コードを抽出

コードの類似性から
カテゴリーを生成

- ・生成されたコード、カテゴリーから**縦横連携の課題**を分析した

コードの分類結果

	カテゴリー	サブカテゴリー	コード
1	障害児の地域での現状	1	3
2	保護者同士のつながり	1	4
3	保護者の役割	3	12
4	医療的ケア児の学校生活	2	7
5	支援学校の意義	1	2
6	関係機関のつながり	3	9
7	関係機関の間での情報伝達	4	26
8	業務の役割の確認	1	2

縦横連携に関する、**3.6.7**について課題を検討

カテゴリー 【保護者の役割】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
支援学校における保護者の負担	移行期の保護者の役割	事業所における保護者への関わり
コード	コード	コード
<ul style="list-style-type: none">・母が付き添いして教員に指導している・児童デイから学校への引継ぎは確立されておらず、保護者の力が必要	<ul style="list-style-type: none">・行政も一貫した支援は困難で母が中心となる・障害児支援は保護者の意向で動く	<ul style="list-style-type: none">・保護者を育てるという役割・母の相談にはデイでの成長過程や過去の事例を伝える

【保護者の役割】における課題

関係機関をつなぐ役割を保護者が担わざるをえない

カテゴリー 【関係機関のつながり】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
行政・制度による支援体制	情報共有・連携の課題	支援学校と地域との協働支援
コード	コード	コード
<ul style="list-style-type: none">・堺市の運営科による巡回制度・A園による保育所等訪問事業	<ul style="list-style-type: none">・デイのみ利用の子どもの引継ぎの困難さ・複数施設利用児の施設間連携が難しい	<ul style="list-style-type: none">・地域からも情報提起をしてほしい・地域で連携して子どもを支援

【関係機関のつながり】における課題

利用事業所数の増加を背景に、関係機関同士のつながりが希薄

カテゴリー 【関係機関の間での情報伝達】

サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー	サブカテゴリー
コード	コード	コード	コード
移行期の情報伝達	個別支援計画に 関すること	施設間連携に 関すること	情報伝達ファイル に関すること
<ul style="list-style-type: none">・引継ぎ不足により 子どもが不適応行動 を起こす・行政間での連携は スムーズにいきやす い	<ul style="list-style-type: none">・経年推移がわかる 個別計画の作成の実現 には至らず・個別支援計画をま とめると流れがわ かりやすい	<ul style="list-style-type: none">・生活介護事業所に おいても連携や移行 期は課題・支援には医療も含 めた連携があると良 い	<ul style="list-style-type: none">・情報伝達ファイルの 実用的な作成や活用に は至っていない・過去を知ることが 出来るツールは必要

【関係機関の間での情報伝達】における課題

出生～成人までをつなぐ既存の情報伝達ファイルの活用が不十分

結果のまとめ

課題	内容
①保護者の役割	関係機関をつなぐ役割を保護者が担わざるをえない
②関係機関のつながり	利用事業所数の増加を背景に、関係機関同士のつながりが希薄
③関係機関の間での情報伝達	出生～成人までをつなぐ情報伝達ファイルの活用が不十分

考察 先行研究との比較

カテゴリー	堺市の課題	先行研究の指摘
保護者の役割	機関の間のつなぎ役を保護者が担わざるをえない	保護者と事業所間の相互理解の促進（佐藤ら、2021）
関係機関のつながり	施設間の繋がりが希薄	多機関の情報共有の必要性（北村ら、2023）
関係機関の間での情報伝達	情報伝達ファイルが未活用	引継ぎ時のサポートファイルの有効性（平生ら、2021）

- ・堺市の縦横連携の課題は、**先行研究と類似点**があった。
⇒これらの先行研究を参考に、対応策を検討した。

考察 今後に向けての対応策

方向性	具体的方策
① 保護者支援	引継ぎを保護者と連携して行えるよう、役割分担を明確化
② 機関同士の関係作り	「堺ミーティング」をはじめ、定期的に多機関が参加する研修や会議を設定
③ 情報伝達ファイルの活用	伝達ファイルの活用方法の検討

ライフステージを通した、**とぎれのない支援**の構築を目指す

参考文献

- ・平生尚之・平生綾乃・井澤信三 (2021) 発達障害児者のための行政版サポートファイルの有用性に関する研究. LD研究 Vol30, 362-373.
- ・北村早知香・松山郁夫 (2023) : 知的障害特別支援学校小学部における新入学児の情報共有. 佐賀大学教育学部研究論文集 Vol7, 101-109.
- ・佐藤匡仁・鈴木和子・齋藤昭彦 (2021) : 発達障害児の支援システムにおける情報共有の現状と課題 (第1報) – 岩手県一関市の小学校・中学校と放課後等デイサービスとの連携を中心に. 岩手県立大学社会福祉学部紀要, 第23巻, 63-72.
- ・佐藤 郁哉 (2008) : 質的データ分析法, 新曜社